

===== 2011.1.28

NPO法人東京高次脳機能障害協議会 — <http://www.brain-tkk.com/>

## T | K | K | メ | ル | マ | ガ | vol.17

.....

～目次～

1. T K K活動
2. 行政等の活動
3. 関連団体の活動
4. メディア主催の講演会

.....

---

### 【 1 】 T K K活動

∞  
\* \*

- 
- 運営委員会、12月18日（土）午後、VIVID事務所、  
活動実績、今後の活動の確認（相談会、グループ訓練講座他）
  - 高次脳機能障害の講義、12月20日、臨床福祉専門学校（江東区）  
言語聴覚療法学科の1年生70名に、細見理事長が体験を通しての高次脳機能障害者の家族の声を語りました。

- 家族相談交流会、1月12日、都身障センター、2家族が参加されました
  - 2月5日（土）、3月9日（水）、都身障センターで開催します

[http://www.brain-tkk.com/index/show\\_information.php?boardAct=view&readNum=67](http://www.brain-tkk.com/index/show_information.php?boardAct=view&readNum=67)

○講座「高次脳機能障害のグループ訓練」第2弾

2月19日を皮切りに、今年も3回に渡って開催します。

[http://www.brain-tkk.com/index/show\\_information.php?boardAct=view&readNum=68](http://www.brain-tkk.com/index/show_information.php?boardAct=view&readNum=68)

---

## 【2】行政等の活動

---

∞

\* \*

∞

- 区西南部圏域連絡会、10月20日夜、JR東京総合病院

東京都の「専門的リハビリテーションの充実」モデル事業の一環。メンバーは区西南部の拠点の玉川病院、東京都、世田谷区、目黒区、渋谷区の関係機関、家族会他

==== 10月20日、JR東京総合病院で、東京都の高次脳機能障害者支援普及事業のモデル事業の連絡協議会が開催されました。家族会として、今井も参加の要請がありました。

玉川病院がアドバイザー設置医療機関となって進めていく事業ですが、玉川病院がある世田谷区では福祉の関係機関ではすでに連携が行われていて、同じ医療圏の目黒との連携も実際に行われています。医療機関の方が後追いしている感がありました。玉川病院が地域の支援機関・医療機関と連携して、リハビリ支援技援のアドバイスをを行うというものですが、医療機関側からはたして生活現場での「生活リハ」の提案ができるのか、と考えてしまいました。

画像診断や症状の説明を専門用語ではなく、福祉機関や支援者に翻訳して判り易く伝えてほしいと思います。またそれを受けてPT、OT、STの専門職からのリハビリについてのアドバイスを伝えてほしいと思います。

さらにリハビリを進めていく上で、状況の変化に応じて、何度もその対応について、双方向の情報交換や研究が出来ることを望みます。支援の図式の通りに、当事者や家族も入れてほしいと思いました。 ===== 今井

- 第2回 高次脳機能障害者相談支援研修会 10月25日、都研修センター

## 「高次脳機能障害の社会的行動障害のある方への対応と家族支援」

午前に東京福祉大学先崎教授、午後に東京医科大学病院 藤平SW,日本歯科大学附属病院 西脇STの講演がありました。

また高次脳機能障害者家族の声としてTKK会員が講師をつとめました。

講師：なんてんの会代表 井上隆子氏（ご主人が当事者）

かつしかの代表 山寄サカエ氏（ご長男が当事者）

=====  
お二人に受傷してから今日までの乗り越えてきた困難辛苦の貴重な体験を語っていただきました。

将来を楽しみにしていたご長男が交通事故で植物状態と医師に宣告される。そこから親ならばこそその執念で、治療やリハビリで回復させていく過程や、100才以上長生きして息子の将来を見守りたいと願う、死んでも死にきれない、悲しいまでの母の心。親亡き後も安心して当事者の介護(支援)を任せられる社会資源の構築についての課題が突きつけられたような、胸が痛い思いでした。

また、働き盛りのご主人が倒れた場合、経済的なこと、子供の養育や教育等々、さぞ奥様は苦労山積であったでしょうに、大変な看病・介護の毎日であったでしょう。そんな中で、「俺と離婚して出ていくつもりだろう！」とどなられても、そのたびに「不安になって言ってるんだ。何とか安心させてあげたい」と思い、「そんなこと絶対ないよ。死ぬまで一緒にいるから安心してね」と心を込めて言ってあげられるようになり、介護している妻自身がいらつかななくなったら、気が付いたら「離婚妄想」はなくなっていた、等々、理解してあげる優しい妻の心があってこそご主人様も回復していくのだと深く感動いたしました。 ===== 細見(み)

- 都主催家族相談交流会、11月6日（土）：立川、12月6日（月）都身障センター

初めて都西部地区の立川で開催された相談会には今まで最多の12家族、12月も3家族が参加されました。

- 東京都福祉サービス評価者研修会 11月15日 東京都福祉サービス評価推進機構主催



能障害者の移動支援は、余暇活動、自立のための準備である訓練的利用が利用目的となっています。まだまだ利用者も実施している事業者も少なく、高次脳機能障害への理解の広がりの中で今後、各区市町村での取り組みも進んでくるものと思われます。

後半では、府中市と3つの事業所からの実践報告がありました。今井も世田谷区で行っている事業所として発表しました。それぞれに支援をしながら、いろいろ工夫しながら実践、修正しながらやっている実態が語られました。やはり高次脳機能障害についての理解とオーダーメイドの支援が必要であることを確認しました。

最後に当事者とご家族の話があり、手探りで手に入れてきた支援などを明るく語られ、多くの共感を得ていました。

移動支援は地域に投げかけられたサービスであり、地域差が大きいため、今後それをどう是正していくか、ということも問題になってくると思われ、そのためには当事者や家族が、サービスの必要性を自分の地域で声を出していかなければならないのではないかと思います。 ===== 今井

●港区講演会 「高次脳機能障害と回復への支援」、TKK受託事業

11月17日(水)午後、高輪区民センター 区民ホール

渡邊 修 首都大学東京大学院教授、梶間 剛 東京慈恵会医科大学リハビリ医学講座助教およびNPO法人VIVID 池田敦子氏,TKK 細見理事長の講演がありました。

====港区初めての講演会「高次脳機能障害と回復への支援」は、100名以上の参加者があり無事、盛会で終了しました。これを契機に港区も高次脳機能障害への理解と支援が益々広まれば良いと願っています ===== 細見

●第15回東京都障害者福祉交流セミナー,12月1日,都庁第1本庁舎5階大会議室

「大都市におけるライフステージと地域」がテーマの基調講演とシンポジウム。

午前の部：支え合い 障害者が暮らし続けることで 地域がかわる」

[講師]毎日新聞社論説委員 野沢 和弘

午後の部：ライフステージに沿った支援とは 暮らしとは 地域とは

[シンポジスト] 都立七生特別支援学校教諭 大沼健司氏

東京都知的障害者育成会理事 矢野久子氏

CILちょうふ代表 秋元妙美氏

日本点字図書館職員 甲賀佳子氏

高次脳機能障害者 今井敏夫氏(TKK)

高次脳機能障害者と家族の会代表 今井雅子(TKK)

豊かな暮らしを実現していくために、夫々のライフステージの障害当事者や支援者が話題を提供し合い、これからの地域のありようをみんなで考えようとするシンポジウムでした。

●板橋区障がい者週間記念行事 講演会、12月5日、板橋区グリーンホール

講師：細見理事長

「中途障がい者の日常生活を豊かにする活動（運動）を考える」をテーマに、TKKの活動と実情を講演

○東京都相談支援従事者者初任者研修会,2月2日、戸山サンライズ大研修室

TKK加盟団体の当事者が講師をつとめます。

高次脳機能障害若者の会「ハイリハ東京」 青木政美氏

NPO法人高次脳機能障がい者活動支援センター調布ドリーム 山崎節子氏

当事者が高次脳機能障害者の生活ニーズをテーマに語る。細見理事長がコーディネーターおよび本障害についての説明と当事者、家族の実情及びTKKの紹介をする

○多摩地域高次脳機能障害研修会,2月10日、羽村市ゆとろぎ市民会館

「高次脳機能障害とそのニーズについて

講師：細見理事長、なんてんの会代表 井上 隆子

---

### 【3】関連団体等の活動

＊ ＊

---

- ハイリハ東京10周年記念行事、12月2日～6日、東京芸術劇場

会員当事者達の作品展「新歩展」

一度は消した未来を、今、再び、思い描けるようになりました。  
手にしたいと思っている未来、  
手にすると決めている未来です。  
そして、未来につながっていく「今」を、丁寧に生きています。

小宮 紀子

この「新歩展」に寄せて作った当事者：小宮さんの詩です。

=== 「新歩展」の会場で家族相談交流会を共催しました。5日間で延べ10人以上の当事者、ご家族が相談に来られました。てんかん薬や精神薬などの服薬、リハビリや訓練、社会復帰訓練、職場復帰後の待遇などについて話し合いまた＝細見

- 世田谷高次脳機能障害連絡協議会主催、「春の音コンサート」

2月11日（金・祝）12:30～、玉川区民会館（世田谷区等々力3-4-1）

参加費：900円、問合せ：ケアセンターwith内 植田03-5829-8741まで

---

### 【4】その他

＊ ＊

---

- 朝日新聞厚生文化事業団主催 講演会「高次脳機能障害の人を支援する」

1月22日、有楽町朝日ホール 後援：TKK他

=====

- ・橋本圭司先生の高次脳機能障害の基本的な理解をテーマに各症状の具体的説明とその指導方法や対処法について、いつもの橋本節で軽妙な講演。
- ・山田規久子氏の医師ならではの、自らを鋭い観察力で分析した当事者からのメッセージ（代読）。

その後、橋本圭司先生がインタビュアーしながら、お二人で語られました。

壊れた脳でも修復する力を持っており自ら学習する、決してあきらめてはいけない、リハビリテーションは受け身ではなく勉強する心構えが必要であって、相互に教え合うことにより良いリハビリテーションが実現する等々、当障害の理解が社会の常識になることを願っておられました。

- ・シンポジウム、コーディネーター；小川 喜道先生（神奈川工科大学 教授）

パネリスト：

阿部順子先生（岐阜医療科学大学 教授）生活版ジョブコーチについて

星川広江氏（笑い太鼓 理事）...地域で働き暮らす、グループホームについて

白木福次郎氏（NPO法人ほっぷの森 理事長）...就労支援センターほっぷ、障害があるからと甘えるのではなくプロとして本物のサービスを提供するレスロランびすた〜りの経営、等々について

以上、3時間内に6人の講師という、駆け足でしたが、要点を捉えた含蓄ある講演でした。今回は、高次脳機能障害の理解を深めるための内容だけでなく、当事者支援とはどうすべきか及び実際に支援事業を行っている方々に感動し、その経営努力に心から敬服した次第です。 ===== 細見

○NHKハートフォーラム ～脳損傷からの回復 リハビリテーションの新知識～

3月20日（日）13:00～15:30、後援：TKK他

会場：ニッショーホール（港区・定員700人）

講師 大橋正洋氏（神奈川リハビリテーション病院 医師）

和田敏子氏（デイケアセンターふらっと 理事）

司会 藤田太寅（経済ジャーナリスト、元NHK解説委員）他

概要は <http://www.npwo.or.jp/info/2011/rehabili20110320.html>



宛先：[はがき] 〒150-0041 東京都渋谷区神南1-4-1

[ファックス] 03-3476-5956

NHK厚生文化事業団「3月20日リハビリフォーラム」係 へ

記入事項：名前(必ず個人名を記入)、郵便番号、住所、電話番号、参加人数  
一緒に参加する方の名前（複数名希望の場合）を記入

、

ホームページからの申込みは、

<https://www.npwo.or.jp/form/rehabili-tokyo0320/index.html>

以上